



# 東小だより

学校だより11月号  
令和6年10月31日  
昭島市立東小学校  
校長 鈴木 正樹

我慢する心 意志力や耐性を培う

校長 鈴木 正樹

先日の開校70周年記念運動会では、子供たちに温かい御声援を送っていただきありがとうございました。また、片付け等への御協力ありがとうございました。

校庭の落葉して冬の姿に変わっている木々をよく観察すると、固い芽の中にはもう春の準備がきちんとなされていることに驚かされます。与えられた環境の中で、自分を精一杯に咲かせようとしている生命力の尊さに感動するとともに、人も同じではないかと考えさせられます。どの子供たちも、その子だけの誰にも代えることのできない美しい花をもっています。しかし、美しい花を咲かせるためには寒い冬も必要です。子供たちにとって、厳しい寒さに耐え、開花の力を蓄えるときが小学校時代ではないでしょうか。

近年、「ハイキングや山歩きで、もう歩けないと弱気になる子供が多くなった。」「少し難解な問題になると、問題を見ただけで諦める子供が増えている。」と言われていています。これからの時代を生き抜いていくためには、意志力や耐性は欠かせない要素です。また、そのような力を身に付けさせるためには「厳しい寒さに耐え、開花の力をしっかり蓄えること」が必要であるといえます。

学習指導要領「特別の教科 道徳」の内容項目「希望と勇気、努力と強い意志」には、

[第1学年及び第2学年] 自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。

[第3学年及び第4学年] 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。

[第5学年及び第6学年] より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。

と示されています。

運動会やこれから行われる音楽会等の学校行事をはじめとする学校生活の中で、自分の目標をもって、勤勉に、くじけず努力し、自分を向上させる経験を通じて、子供たちには、意志力や耐性を身に付けて、その子だけの美しい花を咲かせてほしいと願っています。